

内閣府だより

山口沖縄担当大臣の久米島視察について

5月22日から23日にかけて山口沖縄担当大臣は沖縄県を訪問し、久米島などの視察をしました。

久米島では車海老養殖場などを視察した他、那覇市では小桜の塔を参拝し、対馬丸記念館を視察しました。



久米島空港で歓迎を受ける山口沖縄担当大臣



車海老養殖場を視察する山口沖縄担当大臣

「かりゆしウェア」の普及促進について



ミス沖縄の町田彩美(まちだあやみ)さんから、かりゆしウェアを贈呈される山口沖縄担当大臣



閣議においてかりゆしウェアの着用

その他に、かりゆしウェアの普及促進の一環として、6月2日に内閣府庁舎内において「沖縄物産展」が開催され、「かりゆしウェア」をはじめとした様々な沖縄物産品が販売されました。

物産展には、山口大臣、平副大臣、松本政務官も足を運び、沖縄物産品をPRしました。

かりゆしウェアは昨年製造枚数が過去最高の49万枚を超え、順調に推移しています。

内閣府沖縄担当部局としても、5月1日から始まったクールビズ期間に合わせて、各省庁への共同購入案内や、職員による積極的な着用の呼び掛けを通じ、かりゆしウェアの普及促進に取り組んでいます。

5月25日には、総理大臣官邸において、翁長沖縄県知事とミス沖縄の町田彩美(まちだあやみ)さん、阿波根あずさ(あはごんあずさ)さんにより、安倍内閣総理大臣、菅内閣官房長官及び山口沖縄担当大臣へのかりゆしウェアの贈呈が行われました。

また、6月最初の閣議(6月2日)では、安倍総理大臣以下の全閣僚がかりゆしウェアを着用して閣議に臨みました。

その後、山口大臣は、かりゆしウェア姿で閣議後の記者会見に臨み、かりゆしウェアの着心地の良さをアピールするとともに、沖縄以外の地域でも広く普及することを期待している旨述べました。



物産展でかりゆしウェアを手取る平副大臣